

第5回千葉市男女共同参画推進優良事業者表彰

千葉市では、平成19年度男女共同参画週間に合わせて、昨年11月22日、市役所市長応接室において「第5回千葉市男女共同参画推進優良事業者表彰式」を行いました。表彰式では、安孫子誠男男女共同参画審議会会長・中谷きよ副会長が臨席する中、優良事業者2社に、千葉市長から賞状と記念品が贈呈されました。



千葉市男女共同参画審議会 中谷副会長 生活協同組合ちばコープ 田井理事長 鶴岡市長 丸金印刷株式会社 川合代表取締役社長 千葉市男女共同参画審議会 安孫子会長



男女共同参画社会の実現をめざす上で、事業者はとて大きな役割を担っています。そこで千葉市では、「千葉市男女共同参画ハートモ二一条例（平成15年4月施行）」において、事業者の役割を定めるとともに、この条例に基づき、性別にとられない登用や職域拡大、家庭と仕事の両立支援など、積極的な取組を行っている事業者を表彰しています。

平成15年度から行っているこの事業者表彰、5回目を迎える今年度の優良事業者は、丸金印刷株式会社、生活協同組合ちばコープの2社に決定しました。



今号では、丸金印刷株式会社 川合榮子社長へのインタビューと、同社で活躍されている従業員の方のお話をお届けします。

第5回千葉市男女共同参画推進優良事業者表彰



まる きん いん さつ
丸金印刷株式会社
第5回
優良事業者
紹介

川合 榮子代表取締役社長

住所：千葉市花見川区幕張町2-7698-1
業種：紙器印刷加工業
(医薬品・化粧品等のパッケージ・ラベルの印刷加工)
従業員数：175人(女性69人、男性106人)

表彰理由

従来、男性の職場であった製造部門のオペレータに女性を採用して職域拡大を図るとともに、女性管理職の積極的な登用を行うなど、女性の能力活用に努めている。

個人の適性に応じた登用で女性の能力を活用

当社は、医薬品・化粧品等のパッケージなどを印刷・加工する会社です。一般の商品のパッケージに比べ、より高い品質が要求されますが、社員一人ひとりが意識を高く持ち、お客様からの信頼を守っています。

印刷業界は男性社会と言われるますが、当社では、従来から女性のパワーを活用してきました。

ただ、製造現場については、体力面などを考慮して男性のみでした。しかし、適性があるならば男性・女性に関係なく能力を活用したいと考え、平成17年に初めて印刷機オペレータに女性を登用しました。最初は「女性が機械操作なんて」という声もありましたが、登用された女性の努力とその成果は、製造現場の認識を新たにしましたし、良い前例になってくれました。「印刷機オペレータをやりたい」という人材(女性)がいてくれたことに感謝しています。その後、平成19年にも、オペレータを希望した2名の女性を採用しています。



また、やる気のある女性の登用も積極的に行っています。女性従業員のうち正社員は現在19名ですが、この2年間に2名をパートから正社員へ登用しました。さらに、そのうち1名は、係長に昇進しています。

現在、当社の女性の産休・育休取得率は100%。男性も、配偶者の出産休暇の取得率は100%です。今後は男性にも育児休業を取得してもらえたらと思います。また、もっと女性が積極的になるために、会社としてできることを、考えていきたいです。社員は財産です。普段から社員によく声をかけますが、社員が元気かどうか敏感に感じたいと思っています。

今回、千葉市から表彰を受けましたが、目標や取組ということではなく、自然体でやってきたことが、結果として、「男女共同参画」だったのだと思います。やってみなければわからない、ダメだったらそれを反省材料にして、マイナスをプラスにしていければいい。これからも今までと同じこの姿勢で、進んで行きます。



「責任とやりがいを感じます」

品質保証部 ラベル検査課係長 大長光子

私は検査課で社員2名、パート8名(全員女性)と共に、医薬品と化粧品のラベルを検査するという責任のある仕事をしています。ロール巻き状になった印刷物を、一枚ずつ全数、機械上で検査する作業です。

困難にぶつかることもありますが、それを乗り越えて納期までに製品を出荷できた時は達成感を感じます。また、ラベルが商品となりお店に陳列されている所を見た時は、ついラベルに目が留まり嬉しくなります。

地味な仕事ですが、責任とやりがいのあるポジションと自負しています。後輩には仕事を好きになることと、謙虚に取り組む姿勢を伝えていきたいと思っています。

仕事と家庭の両立はできているかどうかはわかりませんが、家庭の理解があって今まで勤められたと思っています。

大長さんは、そのやる気と能力が認められ、パートから正社員に、さらに係長に登用されました。